

# 記入例

以下の方法で、変更箇所を記入してください。

追加・変更したい箇所 → 赤字+下線

削除したい箇所 → 赤字+見え消し(取り消し線)

## 農業経営改善計画認定申請書 (変更)

年 月 日

○	福井市長 殿
	福井県知事 殿
	農政局長 殿
	農林水産大臣 殿

申請者	住所	福井市大手3丁目10-1	電話番号	0776-00-0000 090-0000-0000
			メールアドレス	●●●●@●●●●.jp
	フリガナ	ノウジクミアイホウジンフクイシファーム	フリガナ	ダイヒョウリジ <u>エチゼン サプロウ</u>
	個人・法人名	農事組合法人福井市ファーム	代表者 役職・氏名 (法人のみ)	代表理事 <u>越前 三郎</u>
	生年月日・ 法人設立年月日	平成27年1月1日	法人番号	1111-22-333333

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。



(3) 農用地及び農業生産施設													
ア 農用地					イ 農業生産施設								
区 分	所在地		地目	現 状 (a)	目標 (令和〇年) (a)	種 別	所在地		規 模				
	都道府県名	市町村名					現 状		目標 (令和〇年)				
							棟	m <sup>2</sup>	棟	m <sup>2</sup>			
所有地	福井県	福井市		0	0	格納庫	福井県	福井市	1	140	1	140	
						作業場	福井県	福井市	1	100	1	100	
借入地	福井県	福井市		2,003	2,703	加工所	福井県	福井市	1	20	1	20	
						パイプハウス	福井県	福井市	3	1,000	4	1,250	
その他	福井県	福井市		600	600								
経営面積合計				2,603	3,303	経営面積合計							
③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置					④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置								
<p>①現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圃場面積が小さく分散している。</li> <li>・従来の農機具を使った経営を行っている。</li> <li>・水稻育苗後のハウスを利用し、施設園芸を行っている。</li> </ul> <p>②目標・具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺農家と協力し圃場の交換を行い、畔を取り払うなどし、可能な限り圃場面積を拡大しつつ集積集約化を図る。</li> <li>・ドローンの導入し、防除の効率化を図る。</li> <li>・水稻の規模拡大に伴い、育苗ハウスを増設する。増設したハウスを利用し、施設園芸を拡大する。</li> </ul>					<p>①現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営の状況を明確に把握できていない。</li> <li>・減農薬、減化学肥料にこだわり、米を栽培しているが、差別化して販売できていない。</li> <li>・水稻育苗、乾燥を独自に行い、経費を削減している。</li> </ul> <p>②目標・具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計事務ソフトを購入し、作目別に経営状況を把握する。</li> <li>・減農薬、減化学肥料栽培の米を差別化し販売する。直接販売先を増やし、高付加価値を図る。</li> <li>・育苗ハウスの空きスペースを活用し、水稻育苗の作業受託量を増やす。</li> </ul>								
⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置					⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置								
<p>①現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人で全作業を行っており、農繁期には作業が遅れることがある。</li> <li>・計画的に休日を取得できていない。</li> </ul> <p>②目標・具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸部門で収穫等を担う臨時雇用を集落内で募集し1名確保する。</li> <li>・後継者への経営の移譲を検討する。後継者が栽培、経営の知識を身に付けることができるよう、共同で作業を行い、研修会等に積極的に参加するようになる。</li> <li>・年間の計画を立て、休日を計画的に取得できるようにする。</li> </ul>					<p>①現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水稻の規模拡大に伴い、育苗用のパイプハウスの増設が必要となっている。</li> <li>・背負い動噴での農薬散布にかかる労力が大きい。</li> </ul> <p>②目標・具体的な方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度資金を活用し、パイプハウスを建設する。また、ドローンを購入し防除にかかる労力の削減を図る。</li> </ul>								



